

令和6年11月29日(金)

関係各位

新潟県精神保健福祉センター所長

## 令和6年度高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会の開催について

時下、貴殿にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。  
日頃より、高次脳機能障害に係る支援の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、例年開催しております高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会を令和7年2月8日(土)に行います。

テーマが「高次脳機能障害者の急性期医療から地域での多職種連携まで」としており、多くの関係機関の方々に聴講いただきたく存じます。  
つきましては、ご多用中とは存じますが、御所職員の出席についてご配慮くださいますようお願いいたします。

なお、お手数ですが、出席については別紙方法により1月27日(月)までに別紙記載のQRコードまたは電子メールにてお申込みくださいますよう併せてお願いいたします。

また、下記ホームページでも案内チラシを掲載しておりますので、ご覧いただければ幸いです。

ホームページ URL

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seishin/kouji20230120.html>

新潟県精神保健福祉センター

(新潟県高次脳機能障害相談支援センター)

担当：河村・遠山

〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3

新潟ユニゾンプラザハート館

TEL：025-280-0114 FAX：025-280-0112

E-mail：ngt043040@pref.niigata.lg.jp

精保 第203号の6  
令和6年11月20日

医療機関の長様  
市町村障害福祉担当課長様  
市町村介護保険担当課長様  
市町村高齢福祉担当課長様  
新潟市こころの健康センター所長様  
地域振興局健康福祉（環境）部長様  
障害福祉課長様  
関係機関の長様

新潟県精神保健福祉センター所長

令和6年度高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会の  
開催について（通知）

日頃より、当所の精神保健福祉業務の推進について、御理解と御協力をいただき  
厚く御礼申し上げます。

このたび、標記研修会を別紙実施要領のとおりオンラインにより開催しますの  
で、御多用のこととは思いますが、関係職員の受講について御配慮くださるようお  
願いします。

新潟県精神保健福祉センター  
（新潟県高次脳機能障害相談支援センター）  
担当：河村・遠山  
〒950-0994 新潟市中央区上所2丁目2-3  
新潟ユニゾンプラザハート館  
TEL：025-280-0114  
FAX：025-280-0112  
E-mail：ngt043040@pref.niigata.lg.jp

# 令和6年度高次脳機能障害支援に係る医療・保健・福祉関係職員研修会 実施要領

## 1 目的

関係職員が、高次脳機能障害に関する知識及び職務に応じた支援方法について理解を深め、高次脳機能障害者の支援にあたる専門性の高い人材を養成することを目的とする。

## 2 実施主体

新潟県精神保健福祉センター（新潟県高次脳機能障害相談支援センター）

## 3 後援

新潟県医師会、新潟県言語聴覚士会、新潟県作業療法士会、新潟県理学療法士会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、新潟県精神保健福祉士協会、新潟県介護支援専門員協会、新潟県相談支援専門員協会

## 4 開催日時

令和7年2月8日（土） 午後2時から4時30分まで

## 5 開催方法

- ・当日：Zoomによるオンライン配信
- ・後日：Youtubeによるオンデマンド配信  
（令和6年2月25日（火）～3月25日（火）予定）

## 6 対象者

医療関係者（医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、医療相談員、臨床心理士、公認心理師、薬剤師、臨床検査技師等）、保健福祉関係職員（相談支援専門員、介護支援専門員、支援員等）、行政職員（保健師、相談員等）、ほか高次脳機能障害者支援に携わるもの

## 7 定員

200名程度（当日オンライン配信分）

（裏面へ続く）

## 8 内容

テーマ「高次脳機能障害者の急性期医療から地域での多職種連携まで」

(1) 講義「高次脳機能障害者の移行医療について

～成人期における神経内科の立場から～

講師：獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科准教授 赤岩 靖久 氏  
医療ソーシャルワーカー副主任 清水 博人 氏

(2) 実践報告：「多職種連携による高次脳機能障害者の社会参加促進の実際」

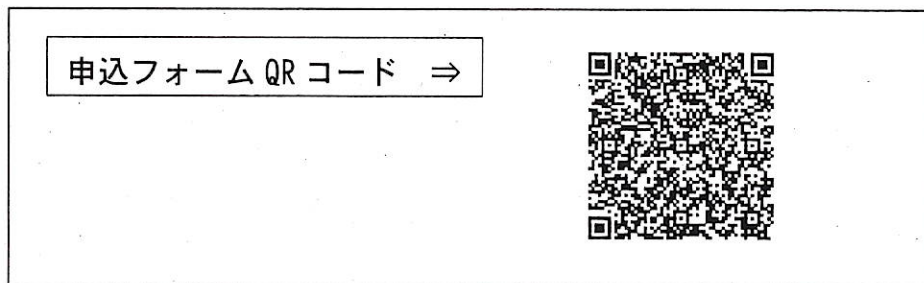
報告者：社会福祉法人豊潤舎 新潟県障害者リハビリテーションセンター  
所長 西片 寿仁 氏

## 9 申込方法

「新潟県電子申請システム」または電子メールにより申込みを行う。

(1) 新潟県電子申請システム

[https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=14992](https://apply.e-tumo.jp/pref-niigata-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14992)



(2) 電子メールによる申込

件名を「高次脳機能障害研修会申込」とし、別紙申込書を添付の上、下記メールアドレスへ送付する。

メールアドレス：ngt043040@pref.niigata.lg.jp

担当：河村、遠山

↑ (小文字のエル)

## 10 申込受付期間

令和6年12月2日(月)から令和7年1月27日(月)まで

## 11 申込にあたっての留意事項

(1) 当日のオンライン配信を希望する受講者には、令和7年2月6日(木)までに Zoom ミーティングのURL・ID等、視聴に必要な情報をメールで送付する。

(2) 後日のオンデマンド配信を希望する受講者には、令和7年2月21日(金)までに YouTube のURL等、視聴に必要な情報をメールで送付する。

(3) 受講者側の都合による接続不具合や通信トラブル等については、原則として主催者側では対応しない。また、受講にかかる費用（通信料、資料の印刷代など）は受講者の負担とする。

(4) 日本医師会生涯教育講座の対象研修（当日のオンライン配信による受講のみ、後日のオンデマンド配信は対象外）として本研修を申請予定。

【単位数：2.0／カリキュラムコード：13、78】

# 令和6年度高次脳機能障害支援に係る

## 医療・保健・福祉関係職員研修会（オンライン研修）

脳損傷後に現れる認知機能の後遺症である高次脳機能障害は、リハビリテーションによって回復に向かいます。しかしながら、当事者や家族は障害を理解することが難しく、戸惑いや不安を抱えることも少なくありません。また、見えづらさによる障害であることから、支援者が対応に悩むこともあります。高次脳機能障害があってもいきいきと生活できるよう、専門職としてどのように連携しサポートしていけばよいか、一緒に考えてみませんか。

### ◎テーマ：「高次脳機能障害者の急性期医療から地域での多職種連携まで」

#### （1）講義

「高次脳機能障害者の移行医療について～成人期における神経内科の立場から～」

講師：獨協医科大学埼玉医療センター

脳神経内科准教授 赤岩 靖久 氏

医療ソーシャルワーカー副主任 清水 博人 氏

#### （2）実践報告

「多職種連携による高次脳機能障害者の社会参加促進の実際」

報告者：新潟県障害者リハビリテーションセンター

所長 西片 寿仁 氏

◎日 時：令和7年2月8日（土） 午後2時～4時30分

Zoomによるオンライン配信

※後日、YouTubeによるオンデマンド配信を行います。

■対象者 医療関係者（医師、看護師、作業療法士、言語聴覚士、理学療法士、医療相談員、臨床心理士、公認心理師、薬剤師、臨床検査技師等）、保健福祉関係職員（相談支援専門員、介護支援専門員、支援員等）、行政職員、ほか高次脳機能障害者の支援に携わる者  
※日本医師会生涯教育講座の対象研修です。「当日（Zoom）の受講」が単位取得の必須要件となります。「後日（YouTube）の受講」は対象外となりますので、ご注意ください。【単位数：2.0/カリキュラムコード：13、78】

■申込方法 令和7年1月27日（月）までに

- ・「新潟県電子申請システム」で申込み（下記QRコードから申込フォームにリンク可能）
- ・別紙「受講申込書」により下記アドレスあてにメールで申込み（\*FAX申込不可）  
（本チラシ及び受講申込書は新潟県精神保健福祉センターホームページにも掲載しています。）

◎新潟県精神保健福祉センター ホームページ URL

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/seishin/kouji20230120.html>

申込フォームはこちらから→



■問合せ先 新潟県高次脳機能障害相談支援センター（新潟県精神保健福祉センター内）  
電話：025-280-0114 メール：ngt043040@pref.niigata.lg.jp

主催：新潟県精神保健福祉センター

後援：新潟県医師会、新潟県言語聴覚士会、新潟県作業療法士会、  
新潟県理学療法士会、新潟県医療ソーシャルワーカー協会、  
新潟県精神保健福祉士協会、新潟県介護支援専門員協会、  
新潟県相談支援専門員協会



